

会 告

会費納入についてのお願い

昭和 42 年分会費の納入期がまいりました。会費は毎年 12 月に 1 年分を前納するか、または毎年 12 月および 6 月の 2 回に分けて、おのおの 6 カ月分を前納していただくことになっております。

なお昭和 41 年 4 月第 51 回通常総会の決定に基づき会費が下記の通り変更になりましたのでご留意の上、繰込みの振替用紙にて下記によりお払込み下さいますようお願いいたします。

記

正会員年会費 2,400円、学生会員年会費 1,500円

宛先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
社団法人 日本鉄鋼協会
郵便振替口座 東京 193 番

Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan

購読のお勧め

本会は、わが国の鉄鋼に関する学術、技術を海外に紹介し、わが国鉄鋼業に対する世界の認識を高め、かつ活発な交流を図る目的をもって英文学術誌「Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan」を年 6 回発行しております。本誌は昭和 36 年に発刊された季刊誌「Tetsu-to-Hagané Overseas」の一層の充実発展を趣旨として昭和 41 年度より改題、増刊したもので、国内はもとより国際的にも日本の代表的かつ最高水準の英文鉄鋼学術誌として認められております。

従来の「Tetsu-to-Hagané Overseas」が和文会誌からの翻訳を主体としていたのにひきかえ、本誌は著者の独創的研究成果をまとめた research article、単なる総合報告でなく、著者の独特な見解を十分におこなった critical review など豊富な内容を誇っております。近い将来には年間 12 号発行の予定です。

本会会員で、和文会誌「鉄と鋼」に加えてさらに本誌の購読を希望される方には、1,200 円の追加料金で両誌が定期的に配布されます。また和文誌「鉄と鋼」にかえて本誌のみの購読を希望される方には、追加料金なしで、本誌が年間 6 冊配布されます。（なお本誌の非会員に対する定価は 1 冊 1,000 円です。）

鉄鋼の技術研究に関して世界に先がける豊富な知識を得るため技術者研究者の必読の書としてお勧めいたします。本誌購読希望の方は別紙申込葉書空欄に必要事項をご記入のうえ、本会宛て郵送下さい。

欧 文 誌 購 読 料

	追加料金
「鉄と鋼」に加えてさらに「Trans., I.S.I.J.」を購読	年額 1,200円
「鉄と鋼」にかえて「Trans., I.S.I.J.」のみ購読	追加料金不要

日本鉄鋼協会行事案内

開催月日	行事(カッコ内は開催地)	申込締切	会 告
12月 15日(木)	第73回講演大会第2種演申込	12月15日	12号N 118
42年 1月 27, 28日(金, 土)	第8回技術講座(東京)	申込不要	N132
2月 2日(木)	JIS 鋼材規格講習会(東京)	申込不要	N133
6日(月)	〃(名古屋)	〃	〃
7日(火)	〃(大阪)	〃	〃
9日(木)	〃(広島)	〃	〃
10日(金)	〃(北九州)	〃	〃
15日(木)	第73回講演大会, 第2種講演概要原稿提出	2月15日	N134
4月 3日(月)	第11回材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム(東京)		次号以降掲載
5日(水)	第52回通常総会(東京)		〃
5, 6, 7, 8日 (水, 木, 金, 土)	第73回講演大会, 見学会(東京)		〃

第8回技術講座開催のお知らせ

— 鋼中の微量元素 —

1. 期 日 昭和42年1月27日(金), 28日(土) 9:30~17:00
2. 場 所 鉄鋼会館8階 大会議室
東京都中央区日本橋茅場町 3-16 Tel 東京 (03) 669-4851
3. プログラム
 - 第1日(1月27日)

金属腐食の機構	北海道大学教授 岡本 剛君
耐候性鋼材	大阪大学名誉教授 多賀谷正義君
 - 第2日(1月28日)

鉄鋼の有害微量元素	
—特にトランプエレメント—	大阪大学教授 足立 彰君
快削鋼について(S, Pb)	大同製鋼(株)中央研究所長 浅田 千秋君
4. 連絡先 日本鉄鋼協会
東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館
Tel (279) 6021 代表

JIS 鋼材規格に関する講習会

近年経済成長にともない、鉄鋼材料が多量に使用されるようになり、鋼種品種もきわめて多岐にわたってきた。これにともない JIS 鉄鋼規格は改訂および新規制定により多方面の用途に対応するような形に整備されてきた。

鋼材は各種規格および仕様に基づいて製造されているが、その大半は JIS 規格によっている。この JIS 規格を的確に把握し、製造者は製造の合理化を、使用者は鋼材を適材適所に用い合理化をはかるため、鋼材 JIS 規格について下記により講習会を開催致します。

多数会員ご参加下さるようご案内いたします。

期日および開催地

開催地	期 日	会 場	所 在 地	乗 物
東 京	2月2日(木)	日本規格協会大講堂	東京都港区赤坂 4-1-24	都電、都バスおよび地下鉄丸の内線 銀座線赤坂見付下車徒歩5分
名古屋	2月6日(月)	愛知県中小企業会館	名古屋市中村区堀内町	大阪駅前より市バス④、⑭「堺筋あべの橋行」に乗車、「高麗橋」下車 東へ150m左側
大 阪	2月7日(火)	日本経済新聞社7階講堂	大阪市東区高麗橋 1-1	
広 島	2月9日(木)	広島商工会議所	広島市基町5-44	
北九州	2月10日(金)	八幡製鉄教育センター	北九州市八幡区中尾 町1	

講習課目、時間および講師

9:30	挨拶				
9:40~10:30	JIS 鉄鋼規格について —規格体系、現状、計画、外国規格など—		工業技術院 材料規格課長	木下 亨君	
10:30~12:20	JIS 普通鋼鋼材規格について —SS, SM, SPH, SPC など改正規格中心—	(東京, 名古屋, 大阪)	川崎製鉄(株)千葉製鉄所	清水 政 治君	
		(広島, 北九州)	八幡製鉄(株)戸畑製造所	石 原 重 利君	
12:20~12:30	質疑応答				
12:30~13:30	昼食休憩				
13:30~15:20	JIS 特殊鋼鋼材規格について —構造用鋼, 特殊用途鋼など改正規格中心—	(名古屋, 大阪, 広島)	早稲田大学教授	長谷川 正 義君	
		(東京, 北九州)	東京大学教授	荒 木 透君	
15:20~15:30	質疑応答				
15:30~15:40	休 憩				
15:40~16:40	JIS 鋼材の使用事例		石川島播磨重工業(株)技術研究所	中 村 素君	
			三菱重工業(株)広島造船所	宇 都 善 満君	
聴講料	1500円 (テキスト代を含む)				

II. 第2種講演申込み要領

- 1) 講演申込み締切 昭和41年12月15日(木)着信のこと.
- 2) 申込方法 前記「講演申込み上の注意」ご覧のうえ、添付の第2種講演申込み用紙(橙色)に必要事項ご記入のうえ、25円切手(本会所定原稿用紙送料)を添えお申し込み下さい.
- 3) 講演時間 1 講演につき講演15分、討論5分

第2種講演概要の提出について

- 1) 原稿締切日 昭和42年2月15日(水)着信のこと.
- 2) 講演概要 講演概要は前刷としてオフセット印刷いたします.
(1) 講演申込者に所定のオフセット用原稿用紙をお送りいたしますので、原稿用紙1枚(表、図、写真を含み1300字)墨または黒インクで明瞭にお書き下さい。
(執筆案内は原稿用紙送付の際同封いたします)
(2) 講演概要は読者が、研究の内容、成果などを理解しやすいようにお書き下さい.
- 3) 講演前刷 「講演概要集」として発行いたします.
- 4) 概要講演の投稿 第2種講演は事後討論を含めたその内容を講演論文として会誌に掲載いたしますので、5月10日までに協会編集課宛原稿をご提出願います。
この論文は「講演論文寄稿規程」に準じてご執筆下さい.

第73回講演大会、第52回通常総会

来春開催の第73回講演大会、第52回通常総会の日程が下記の通り決定いたしましたのでお知らせいたします。
なお、詳細については追って会告いたします。

記

と き 第73回講演大会 昭和42年4月5日(水)、6日(木)、7日(金)
8日(土) 見学会の予定

第52回通常総会 昭和42年4月5日(水)

会 場 東京大学工学部(東京都文京区本郷7-3-1)

なお、4月3日(月)には材料の強度と疲労に関する総合シンポジウムが日本金属学会、日本機械学会、日本材料学会、日本学術振興会と共催で行なわれます。